

GRF工法採用によるコスト改善

工事名：三遠南信17号橋下部工事

概要：【従来】大口径深礎工法 ⇒ 【新】GRF工法（地盤補強型基礎工法）

効果：

・ロックボルト状の補強材を杭基礎の周辺地盤に多数設置し基礎本体と定着させる。補強土効果および地盤を緩めず摩擦抵抗力の向上を図ることにより大口径深礎の杭長を短くできることが可能となりコスト改善が図れる。

■ 工事費が

55百万円から38百万円に改善

（改善額17百万円 改善率約31%）

